

生ごみ肥料のおかげで収穫できる作物が大幅に増えました！（今年の夏野菜は、大豊作でした）



今年度より、川崎市経済局農業振興センターから新しい福祉農業モデル事業として、麻生区早野地区でハーブ栽培を開始しました。10月よりハーブ見本園に「生ごみ肥料」を活用し地域へのアピールをしていく予定です。（早野聖地公園入口看板のある畑です）



福祉施設だからこそできる活動 都市部での「農環境」づくりを目標とする

福祉の立場だからこそ強みを発揮できる活動を生かす

《損得を抜きにした活動ができる恵まれた立場を利用しての活動》

- 「農のある地域（農環境）づくり」を目標の中心にできる
生ごみ肥料化への取り組み、活動への参加・協力等

※ご協力いただいている団体様や企業様の環境保全に対する
取り組みのアピール

- 食育や環境学習のプログラムへの取り組み

現在は近隣の高校の総合学習の場として生徒を受け入れています

- 販売だけを目的としない農地の活用（市民交流や啓蒙活動）
- 今まで環境保全活動や農業に興味が無かった人達にも、福祉施設としての立場から積極的にアピールし、環境保全活動・農業等に巻き込んでいく事を今後の目標としていきます。

本日は、誠にありがとうございました。
社会福祉法人はぐるまの会 はぐるま工房
麻生区片平1848-5

